

ARCHTECTURE REVIEW



建築見て歩記 その30

一宮市の「墨会館」です。丹下健三の設計で、1957年に「墨金興業」の本社屋として竣工しました。現在は「公民館」として地域に開放されるとともに、建築見学にも対応しています。中央に広々とした庭を挟んで建つ2棟を、ピロティで繋いだ構成であり、初期モダニズムを体現した建物は、今見ても、美しい構造体や細部など、とても見応えがあります。

CURRENTLY WORKS



オフィスビルの外装リニューアル

一つの建物で左右の所有者が違う物件で、左側の改修が計画され、右側の所有者から合わせて改修したいとの要望がありました。左側の設計が提示され、それに敬意を払いつつも、独自のデザインを、と考えた結果ランダムなアルミの縦ラインを強調した左側に対し、グレーの横ラインとアクセントのオレンジ色を打ち出す事で、対比の調和をはかりました。

PRIVATE TOPICS



関山の地元探訪記 その7

行って来ました！「なばなの里」！…この寒さでは来る人も少ないと思い勇んで出掛けましたが、見込み違いの大混雑でした！…光のトンネルや富士山のイルミネーション、ベゴニアガーデンなど…電飾は900万球のLEDを使い、さすがに9年連続日本一だけのことはありました。造園家中島健による庭園デザイン…日中のお花畑も見応えがあると思われます。

EDITORIAL NOTE

開けましておめでとうございます。今年も恒例の別名シリーズから始めたいと思います。1月は「睦月」「霞初月」「暮新月」「早緑月」「子日（ねのひ）月」「初見月」「初空月」など、どれも、風情を感じます。英語の「JANUARY」は、ローマ神話に登場する出入口の神である「JUNUS（ヤヌス）」からだそうです。

編集担当：太田・藤原